

3Dマイホームデザイナーシリーズ用 HMD 接続システム 「VR内装体験システム V3.5」

この度は、3Dマイホームデザイナーシリーズ用 HMD 接続システム「VR内装体験システム V3.5」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

HMD 接続システム「VR内装体験システム V3.5」は、以下のソフトウェア・プロダクツに関して、ライセンス証書に記載数分のライセンスを提供するものです。

この HMD 接続システムは、インストール用の CD-ROM 類はなく、以下のソフトウェア・プロダクツの画面上でライセンスキーを入力し、認証することで機能が有効になります。

HMD 接続システムのソフトウェア管理責任者は、その対象となるソフトウェア・プロダクツの管理責任者と同じ方とし、管理責任のとれる範囲でライセンスを提供します。

■使用許諾への同意

別紙「VR内装体験システム ライセンス証書 兼 ソフトウェア使用許諾条項」をお読み頂き、使用許諾条項に同意頂ける場合にのみ、ライセンスキーを入力してください。

ライセンスキーの入力を持ちまして、使用許諾条項に同意頂いたものとみなします。

■対象となるソフトウェア・プロダクツ

2018年6月現在、以下のソフトウェア・プロダクツに対応しております。

- ・ 3D ArchiDesigner
- ・ 3DマイホームデザイナーPRO9 / PRO9 EX
- ・ 3DインテリアデザイナーNEO3
- ・ 3D住宅リフォームデザイナー2

(今後のソフトウェア・プロダクツに対しても、順位対応する予定です)

※初期段階のパッケージには、まだ機能が含まれていない場合がございます。

ライセンスキーを入力する前に、各ソフトウェア・プロダクツのオンラインアップデートを行ってください。

※1台のPCに2つ以上のソフトウェア・プロダクツがインストールされている場合、1つのライセンスキーで、各ソフトウェア・プロダクツでご利用頂けます。各ソフトウェア・プロダクツ毎に HMD 接続システム「VR内装体験システム」のライセンスキーを登録して頂く必要がございます。

■対応する HMD

2018 年 6 月現在、以下の HMD に対応しております。

- ・Oculus VR 社 Oculus Rift CV1 (ドライバーバージョン 1.26.0)
- ・HTC 社 Vive (Vive Setup バージョン 1.8)
- ・FOVE 社 FOVE 0

(今後の HMD に対しても、順位対応する予定です)

※Oculus Rift DK1 に関しては、最新のドライバでは認識はするものの、表示がされません。

※FOVE ドライバをインストールすると、HTC Vive を認識できなくなります。

FOVE ドライバをアンインストールすると、Vive が認識されます。

■推奨動作環境

- CPU : Core i5-4590 以上
- メモリ : 8GB 以上
- OS : Windows 7 SP1 以降
- グラフィック : NVIDIA GTX1060、Radeon RX 480 以上
もしくは NVIDIA GTX 970、Radeon R9 290 以上のビデオカード
- その他 : USB 3.0×3 ポート (Oculus)、2 ポート (HTC Vive)
HDMI 出力(1.3 以降)

■ご利用頂く際の注意事項

HMD をご利用頂く際は、身体への影響も懸念されますので、HMD 付属のマニュアルに記載されている注意事項、制限事項などを良くお読みになってからご利用頂く様、お願いいたします。

- ・3D 映像が苦手な方、体調がすぐれない方、長時間ご利用の方は、通常フルスクリーン表示をご利用ください。
- ・HMD を装着して歩き回る場合は、ケガ防止／転倒防止のため周囲の障害物を片付けてください。
- ・HMD 装着者とは別に補助者を置いて、HMD 利用中の安全を確認してください。
止むを得ず一人で利用する場合は、必ず着座のまま操作を行い、仮想空間内の移動にはコントローラを使用してください。
- ・3D 立体視の見え方には、個人差があります。
また、まれに体調不良が引き起こされることがあります。
- ・13 歳以下のお子様は、発育への影響が懸念されるため、ご利用頂けません。
それ以上のお子様のご利用においても、保護者が十分にお気をつけください。
特にショールーム等で使用される場合、子供のお客様が使用する事の無い様、ショールーム担当者等に周知してください。

※両眼視差による立体視は、およそ 2 歳頃までに形成され、6 歳頃までに発達が完成します。

また、子供は瞳孔間距離が短く、大人用 HMD の設定距離と異なるために輻輳角や脳の空間認知機能に矛盾が起り、強い眼精疲労や輻輳不全・斜視など眼の発育障害に繋がる危険性があります。(短時間の使用でも急性内斜視が発症する場合があります)

瞳孔間距離は、およそ 12 歳頃までにかけて成長する様です。

■バージョンアップサービスについて

HMD 接続システム「VR内装体験システム V3.5」の機能追加、不具合対応、新しいHMDへの対応は、上記ソフトウェア・プロダクト自身のオンラインアップデートにて実施致します。
アップデートの有無は、弊社Webサイトをご覧ください。

※3DマイホームデザイナーPRO8シリーズ（3DインテリアデザイナーNEO2／3D住宅リフォームデザイナー含む）向けのVR内装体験システムアップデートは、2017/8のアップデートを以て終了致しました。以降は、PRO9シリーズ等へのバージョンアップをお願いいたします。

■ノートPCでのご利用について

nVIDIA社のグラフィックチップを搭載したWindowsノートPCでは、使用状況に応じてCPU内蔵グラフィックとnVIDIAの高性能グラフィックを自動的に切り替える「Optimus」と呼ばれる機能（「ハイブリッドグラフィックシステム」と呼ばれる場合もあります）が邪魔をして、正常に動作しない現象（通称「Optimus問題」）が確認されております。

（参考：<http://www.moguravr.com/mousecomputer-interview/>）

ノートPCでご利用頂く場合は、Optimus機能（「MS Hybrid グラフィックス」という表記も同様）を搭載していない機種／搭載していてもBIOSで切り替え可能な機種（各メーカーのホームページ等で「VR Ready」マークが付いているPC）を選定してください。

■サポートについて

HMD 接続システム「VR内装体験システム V3.5」のサポートはお客様の購入方法によって異なります。

メガソフトVRSを購入されたお客様は、購入された販売代理店までお問い合わせください。

以上

株式会社サイバーウォーカー

VR内装体験システムサポート窓口

E-Mail：support@cyberwalker.co.jp

3Dマイホームデザイナーシリーズ用 HMD 接続システム 「VR内装体験システム V3.5」インストール方法

■ライセンス認証

HMD 接続システム「VR内装体験システム V3.5」は、対象となるソフトウェア・プロダクトに含まれており、ライセンスキーを入力する事で機能が有効になります。

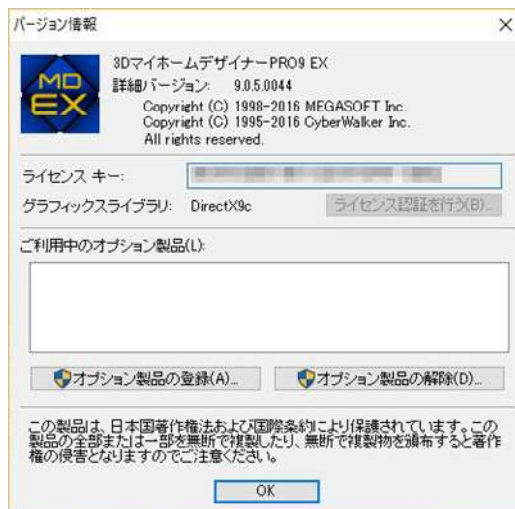
※初期段階のパッケージには、まだ機能が含まれていない場合がございます。

ライセンスキーを入力する前に、各ソフトウェア・プロダクトのオンラインアップデートを行ってください。

- (1) 対象ソフトウェア・プロダクトを起動し、3D画面の「ヘルプ」→「バージョン情報」を選択してください。



- (2) 「オプション製品の登録」を選択してください。



(3) VR 内装体験システム Ver. 3 のライセンスキーを入力してください。



※事前にソフトウェア使用許諾条項をお読みください。

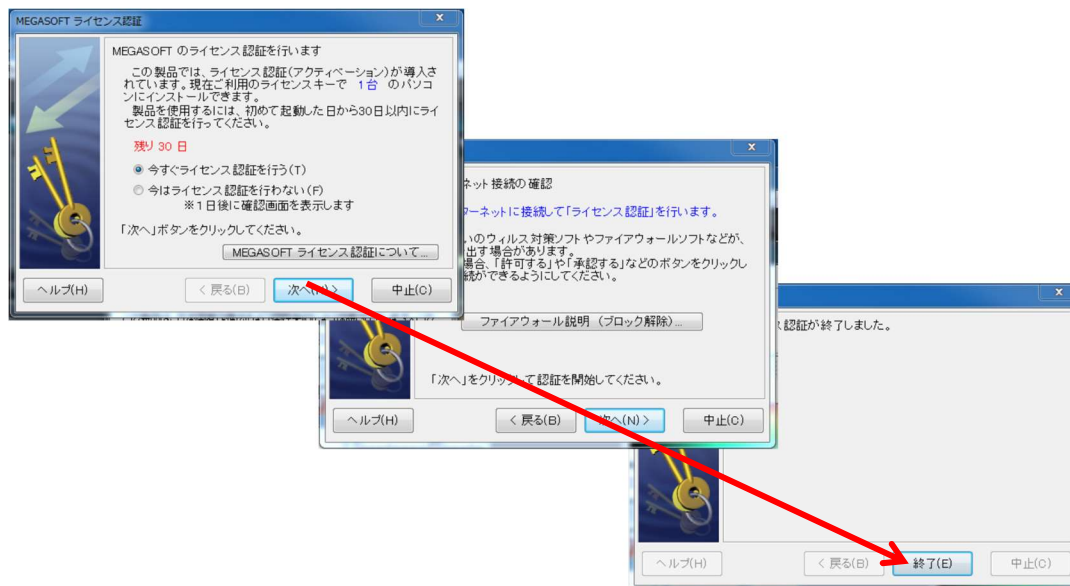
※このダイアログの前に、ユーザアカウント制御の画面が表示される場合があります。

意図したものであれば、「はい」を押して変更を許可してください。



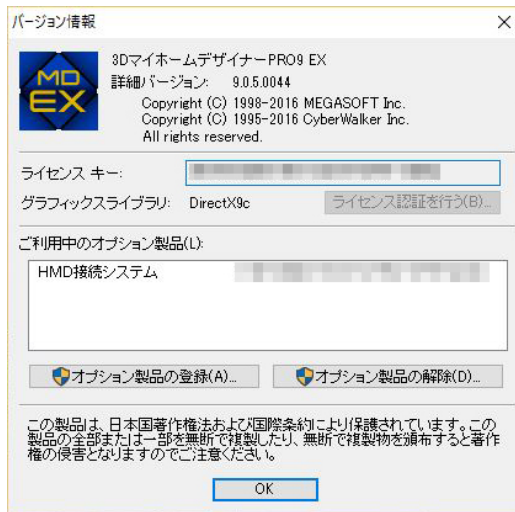
(4) 入力したライセンスキーのオンライン認証を行います。

※インターネットに接続した環境が必要です。



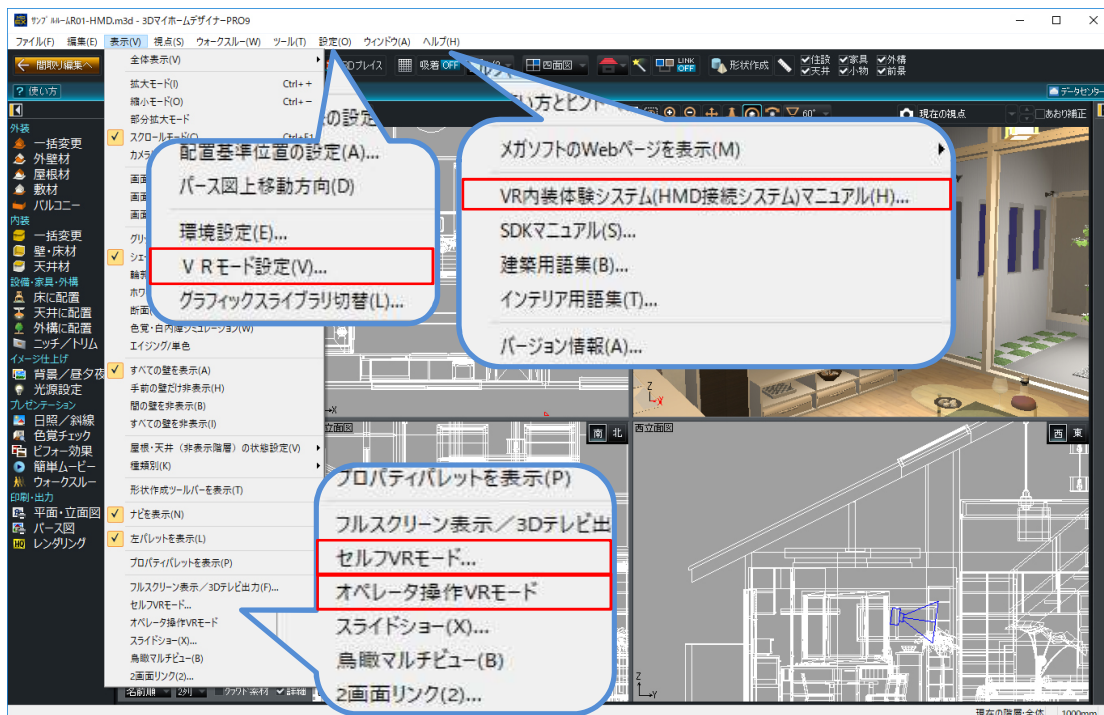
(5) ライセンス認証が完了すると、「ご利用中のオプション製品」に「HMD 接続システム」が追加されます。

※認証できない場合、ライセンスキーを再度ご確認ください。またインターネットに接続されているか、プロキシなどの設定についてもご確認ください。



3D画面には、以下のメニューが追加されます。

- ・「表示」メニュー：「セルフ VR モード」「オペレータ操作 VR モード」
- ・「設定」メニュー：「VR モード設定」
- ・「ヘルプ」メニュー：「VR 内装体験システム (HMD 接続システム) マニュアル」



※ここで一旦対象ソフトウェア・プロダクツを終了し、HMDのドライバソフトをインストール後に再度起動してください。

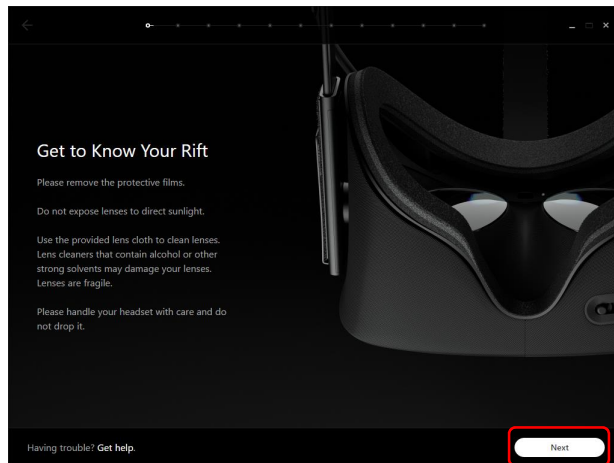
(ライセンスキーを登録した時点で「セルフ VR モード」「オペレータ操作 VR モード」「VR モード設定」等が有効になりますが、再起動しないと HMD に表示されません。)

■HMD の接続、設定

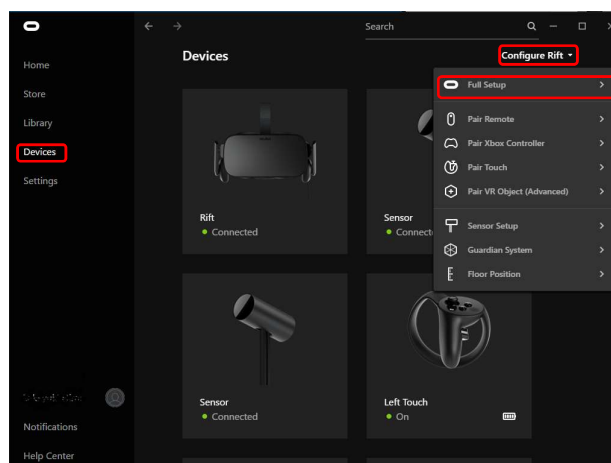
HMD やセンサーの設置、PC との接続、ドライバソフトのインストールは、各 HMD の取扱い説明書等をご覧ください。(HMD やセンサーのファームウェアアップデートが必要な場合があります。ドライバ画面等に表示されるメッセージに注意してください。)

設定の例) Oculus Rift CV1 の場合

- (1) Oculus VR 社のホームページ (<https://www.oculus.com/en-us/setup/>) から「Oculus Rift ソフトウェア」をダウンロードし、PC にインストールしてください。
- (2) 「Oculus Rift ソフトウェア」を起動し、画面左下の「Sign in」からサインインしてください。
Oculus アカウントをお持ちでなければ、画面右下の「Create Account」からアカウントを作成してください。
- (3) 初回は、Oculus Rift の初期設定が始まります。初めて Oculus Rift を接続した場合は初期設定してください。



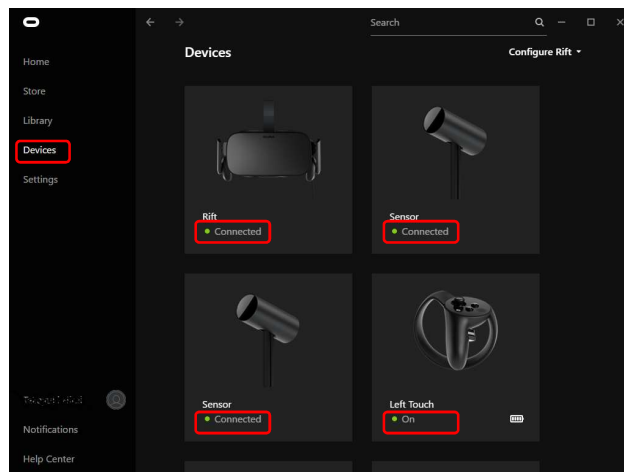
初期設定が始まらない場合、「Oculus Rift ソフトウェア」の「Devices」→「Configure Rift」→「Full Setup」を選択してください。



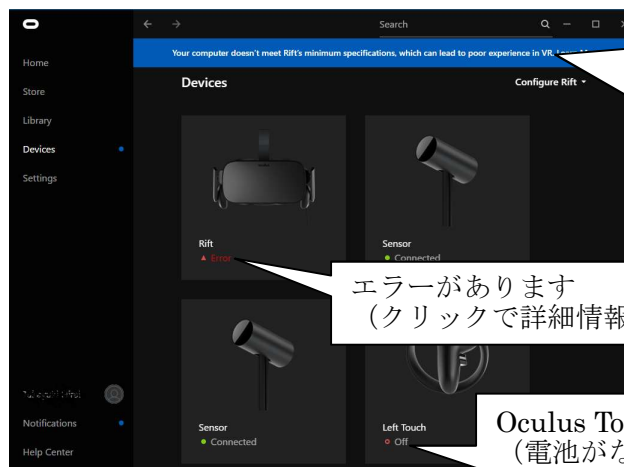
※Oculus の設置場所（センサーの位置）を変更した場合、「Devices」→「Configure Rift」→「Sensor Setup」を実行してください。

(4) デバイスの接続状態を確認してください。

ドライバが正常にインストールされ、各デバイスが正常に認識されている場合は、各デバイスのステータスは緑色で「Connected」もしくは「On」と表示されます。



警告もしくは情報がある場合は、赤色もしくは青色のステータスで表示されます。



your computer doesn't meet Rift's recommended specifications, which can lead to poor experience in VR

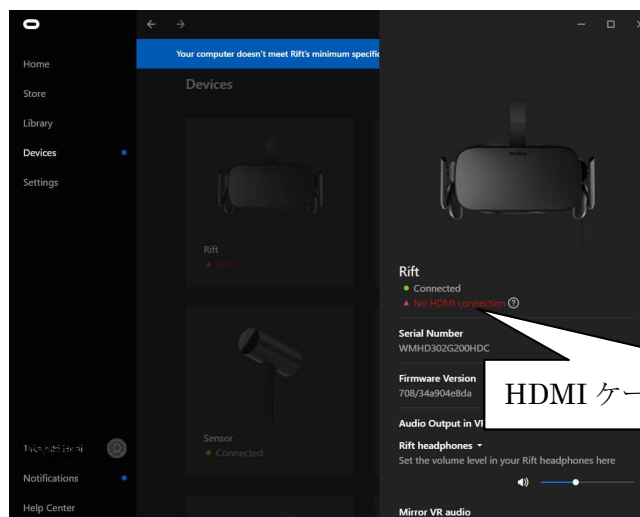
Oculus の推奨環境の要件を満たしていません

エラーがあります
(クリックで詳細情報が表示されます)

Oculus Touch が Off になっています。
(電池がない場合も同様の表示)

※「推奨スペックを満たしていない」という表示が出ていても、動作はしますが、描画が遅く、酔いやすいなどの問題が発生する場合があります。

★デバイス毎の詳細情報表示



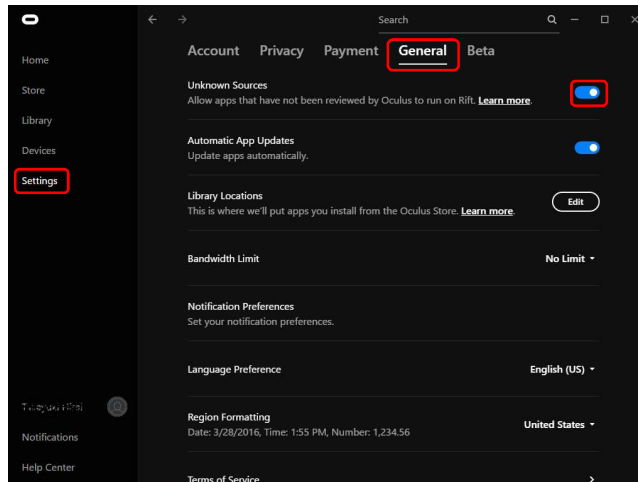
HDMI ケーブルが外れている様です。

※それぞれのエラー／ワーニングの内容を確認し、対処してください。

(5) 未知のアプリケーションを許可する

「Settings」→「General」を開き、「Unknown Sources」をON（下図の状態）にしてください。

この設定を変更しないと、VR 内装体験システムから HMD に表示できません。



※設定は、ログインした Oculus アカウント毎に保持している様です。

新たに Oculus アカウントを作成してログインした場合には、この設定がリセットされていますので、再度設定してください。

(Oculus セットアップ中に設定できる身長の設定もアカウント毎に保持しています)

設定の例) HTC Vive の場合

- (1) HTC 社のサイト (<https://www.vive.com/jp/setup/>) から最新の「Vive Setup バージョン 1.8」(2018 年 5 月現在) を取得し、PC にインストールしてください。
- (2) Vive Setup を実行し、画面の指示に従って Vive ソフトウェア、Steam ソフトウェアをインストール、ベースステーション/コントローラ/リンクボックスを PC に接続してください。
- (3) SteamVR を起動し、プレイエリアの設定を行ってください。
すべてのデバイスが認識され、以下の様に「利用可能」と表示されたら準備完了です。



設定に関する注意) Oculus Rift と HTC Vive の両方を使用する場合

Oculus Runtime と SteamVR の両方をインストールした場合、Oculus は SteamVR (OpenVR) 経由でも動作するために注意が必要です。

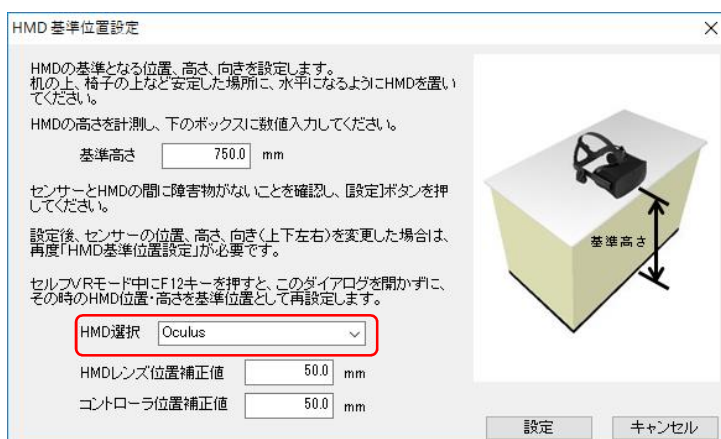
- (1) HTC Vive が接続されている状態から Oculus Rift に接続を変更する場合、HTC Vive のリンクボックスを取り外し、Oculus Rift 本体、センサーを接続してください。

※Oculus ドライバを使用する場合でも、SteamVR は Oculus Rift を認識しています。SteamVR が以下の様なステータスを表示しますが、問題ありません。各デバイスが認識され、センサーに HMD が捕捉されると、以下の様に「利用可能」と表示されます。(デバイスの状態を確認するのに便利です)



認識されるまで、時間がかかる場合があります。また、センサーが HMD を捕捉できない位置にあると、HMD のアイコンが点滅し「利用可能」になりません。数分待っても「利用不可」の場合、PC を再起動してください。

- (2) 3Dマイホームデザイナーを起動し、「設定」メニューの「VRモード設定」を選択して、「HMD基準位置設定」を行ってください。



その際、[HMD 選択]で「自動判定」もしくは「Oculus」を選択してください。

この操作をしないと、直前に使用していた Vive の接続情報をもとに SteamVR 経由で描画します。HMD 基準位置設定を行う事で、HMD の接続情報をクリアし、改めて HMD を認識します。(SteamVR 経由ではなく、Oculus ドライバを直接使用するようになります。)

※Oculus Rift の表示が激しくブレたり、画面が真っ黒の場合は、再度「HMD 基準位置設定」を行ってください。それでも正しく表示されない場合は、一旦、3Dマイホームデザイナーを終了し、再度起動した上で「HMD 基準位置設定」を行ってください。

※Oculus Rift が接続されている状態から HTC Vive に接続を変更する場合、Oculus Rift 本体、センサーを取り外し、HTC Vive のリンクボックスを接続してください。
各デバイスが認識され、SteamVR のステータス画面に「利用可能」が表示された後、3Dマイホームデザイナーを起動し、「設定」メニューの「VRモード設定」を選択して、「HMD基準位置設定」を行ってください。

設定に関する注意) FOVE と HTC Vive を使用する場合

FOVE ドライバをインストールすると、HTC Vive を認識できなくなります。

FOVE ドライバをアンインストールすると、Vive が認識されます。